

社説

オピニオン opinion

「らんまん」から力もらう

小笠原 隆政 68 塾経営(高知市棧橋通)

「目標定らずの愛を 愛った理科専攻の先生が「枚を貰うへ 私を決して今を 野暮太郎博士と会った事が今を悔んではいない」。ある」と話している。植物今放送されている「らんまん」のテーマ曲の歌詞である。
テーマ曲が8分の6拍子という事はすくわかったが、後半1小節を二つでは取れないところが探譜してみた。8分の3拍子が1方所あった。
悲しい歌詞でありながら、調子が曲は書かれており、おまけにリズムに乗りやすく、シンプルなコードのメロディーである。
8分の6拍子で書かれていたところは、歌詞の内容と主人公の生きざまが相まって、素晴らしいこのドラマを引き立てていると思う。
私が小学生の時、担任だ

夜の校舎に小フーガ

杉村 和男 61 植物写真家(四万十市西土佐口屋内)

今からもう40年以上前のこと、高校時代の思い出を少しでも多く残そうと、所属していた音楽部の練習に励んでいました。高校3年生最後の練習曲は、バッハの「フーガ」短調、作品番号第11番「通称「小フーガ」でした。有名なパイプ・オルガン曲を、吹奏楽用にアレンジしたものです。
名残惜しさもあり、定時の授業のない日は音楽部の合同練習が終わった後、夜7時ごろまで個人練習をしていました。当時の校舎は木造で隣建てで「小フーガ」の旋律が暗くなった校舎の中を、響き渡っていました。
バッハ、ヘンデルらの活躍した時代の音楽には「神にささげよう」というようなバックボーンがあり、旋律や和声は荘厳でその時代の匂いまでよみがえってくるような感覚を覚えます。
練習中は楽曲の雰囲気や夜によく溶け込み、傍らには今はなき顧問の先生がいかにもうれしそうに笑みを浮かべながら立っていたのが、とても印象的でした。
ゴルトヴェルク変奏曲やマニフィカトなど、今でもバッハの作品はよく聴いており、殊に静かな夜に鑑賞すると、とても穏やかな気持ちになれます。と同時に、夜の校舎で練習した小フーガの音色がよみがえってくるのです。

公共放送の信頼を失う

NHK問題了算

衛星放送であるBSのインターネット配信が認められていないNHKが、関連経費約9億円を不適切な方法で2023年度予算に盛り込んでいたことが分かった。

一部の役員のみで判断し、予算を計上。最高意思決定機関である経営委員会にも説明しておらず、23年度予算は国会の承認を受け、成立していた。

NHKは公共放送であり、経営は

視聴者に義務づけられている受信料で成り立っている。法令順守は言うまでもなく、透明性の高い経営が求められる。

今回は明らかにそれらに反しており、ガバナンス(組織統治)体制が問われる。公共放送の信頼を失いかねない事態だ。NHKには経営などについて説明責任を果たし、再発を防ぐよう強く求める。

NHKはインターネット配信サービスとして「NHKプラス」を展開している。内容は総務省が認可した「インターネット活用業務実施基

閉店の直販所に感謝

大野 早苗 71 主婦(高知市新屋敷)

ここ十数年の私の楽しみは、せまいものになっており、週に一度は行く土佐市のJA高知東高石支所直販所での買い物でした。新鮮な野菜をはじめ、お花や苗木、魚や干物といろんな物がそろえられていました。
「あっ、もうフキが出たね」「枝豆の季節が来たがや」と四季をじかに感じることができ、心穏やかなときを味わいながらのお買い物は、日常を豊かにしてくれるものでした。
いつのまにか、1週間の食生活、直販所での買い物を軸に考えるようになり、生活に欠か

吉ひろば

今年も又 初物ばあさん



谷口 淑子 84 (四万十市藤岡)

物価高騰に悩まされる中、今月からは送料も大幅に値上げされた。苦心の節制などの話もお持ちしています。

新型コロナ後遺症漂流記 松岡 広明 55 介護福祉士(高知市玉水町)

先日、県内唯一のコロナ後遺症専門がある高知大学付を、診察で訪れた。「あなたは治療がなくなったので、ここから来て、ことは難しくなるとのお話をした。」
昨年7月発症が抜けることなく、できなかりの職し、治療に専念した。いまだに症状ならず、時に悪化元に戻ることも多い。
専門外来にかかると5カ月、月1回で通い始めてからこのありさまである。この専門外来から「くわい」と言われて治療のいのか、内心迷っている。
しかし、病院だけでは足りない。予備専任の人材は

準」に定められ、現状では地上波に限定されている。

このようにも放送法ではNHKの本業はあくまで「放送」だ。受信料もテレビ設置者に課金されている。ネット配信は放送の補完業務に位置づけられている。

NHKはネット事業の拡大を望んでおり、総務省の有識者組織が検討を進めている。しかし、民業圧迫の懸念があり、受信料増額にも影響する恐れがある。慎重な対応が求められるテーマだ。

それをNHKは先走った。背景には、来年3月に予定されるBS放送の1波削減があるとの見方が浮上している。視聴者からサービス低下を

批判される恐れがあり、BSのネット配信の準備を早めに進めようというものだ。

そうだとしても禁止手である。秘密に予算化したと書いても過言ではない。全理事が集まる理事会ではなく、一部の理事が議決を回して計上を決めた。問題の予算を知らなかった理事もいたようだ。

NHKの予算や事業は放送法によって、外部の有識者が組織する経営委員会に諮る必要があるが、その経営委員会チェックできなかった。記者会見した森下俊三委員長によると、問題の予算は経営委員会に示された予算書などにはなかった。放送法に抵触する恐れがある。に